

| ご意見   | 対応等   |
|---|---|
| 策定に関する会議の開催方式   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>総合計画を策定するにあたり、限られた回数の審議会だけでなく、分野別の会議などを開くのが良いと思う。</li> <li>これからパブリックコメントまでの1カ月程度の間に分野別に意見を徴収する会議を開いてはどうか。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>基本目標ごとに追加でご意見を聴取する場を設けさせていただき、2名の委員から追加のご意見をいただきました。</li> </ul>  |
| P13 住民意識調査結果  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>住民意識調査の結果の中で「幸田町のよいところ」「幸田町の悪いところ」どちらにも交通のことが上位に上げられている。住んでいる場所などによって交通の利便性に格差があるのであれば、そういう分析も記述してほしい。</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>住んでいる地域や世代によって交通の利便性についての感じ方が違うと思われる。「交通の便が悪い」を地区別にみると、北部地区での回答割合が最も高かったため、追記させていただきました。<br/>デマンド型交通「チョイソコこうた」が運行している南部地区、町中心部に位置する中部地区と比較して北部地区の回答割合が高いと思われませんが、「幸田町の現状」としては分析ではなく結果のみの追記とさせていただきます。</li> </ul> |
| P18 人口目標  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>人口目標だけでなく、出生率を1.8%とすることも目標としてはどうか</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>出生率の向上は人口目標達成のための一つの指標という位置づけとさせていただきます。現行の表記のままさせていただきます。</li> </ul>  |
| P41 南部地区土地利用構想  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>南部地区で「にぎわい・交流ゾーン」は道の駅にだけ設定されているが、商業振興や観光振興もかねて、三ヶ根駅にも同ゾーンを設定してほしい</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>三ヶ根駅はにぎわい・交流ゾーンではなく、都市拠点として位置付けさせていただきます。都市拠点はにぎわいや交流拠点としての位置づけも内包しており、三ヶ根駅は観光振興に力を入れていきます。</li> </ul>   |

| ご意見   | 対応等  |
|---|--|
| P27 重点方針  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>「重点方針①子どもを育み、家族を支える」の「取組内容」に「快適な教育環境、施設の整備」との記述があるが、モノ中心の表現ではなく、ヒト中心の表現、例えば「教育の充実」などを入れてほしい。</li> <li>「重点方針③広く連携して災害に備える」の「取組内容」で「自助・共助の意識啓発」に加えて、「公助との連携」という表現を加えてほしい。</li> <li>「重点方針②超高齢社会へ備える」では「8050 問題」や「ダブルケア」が特筆されているが、幸田町では特に問題となっているのか疑問である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>「教育の充実」を追記させていただきました。</li> <li>「公助との連携」を追記させていただきました。</li> <li>8050 問題やダブルケアなど、生活に課題のあるご家庭、またその予備軍は、町全体で多いとは言い切れませんが、当該世帯や取り巻く関係者（近隣住民等を含む。）としては大きな問題であるため、町としても早期発見から支援につなげていきます。</li> </ul> |
| P44 1-1-1 防災体制の強化   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>取組分野 1-1-1「防災体制の強化」の目標値である「非常持ち出し袋を要している住民の割合」や「家具転倒防止対策をしている住民の割合」など本来なら 100%を目指すべきではないか。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>取組分野 1-1-1「防災体制の強化」の目標値の「家具転倒防止対策をしている住民の割合」の目標値を 53.0%→70%に修正しました。「非常持ち出し袋を用意している住民の割合」については所管と調整した結果、現状の値のままとさせていただきましたが、幸田町安全テラスセンターを基軸に目標達成のため「自助」の意識の普及に努めます。</li> </ul>                 |
| P46 南海トラフ地震への備え   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>避難所での空調設備についての記述があるが、電源の確保がまず必要だと思います。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「発電機などによる電源確保」を追記させていただきました。</li> </ul>   |
| P48 1-1-2 河川・ため池・山の整備   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>「ため池」についての「浸水被害軽減に不可欠」という記述は、本来の農業用水としての目的外のことであり、誰が責任を持つのか不明であり、記述を削除してほしい。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「不可欠です」を改め、「役立つことから」に修正させていただきました。</li> </ul>   |
| P50 1-1-3 消防・救急体制の充実  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>消防団員の確保のため、記述されている体験教室以外にも、防火パレードなども行っており、記述を追加してほしい。</li> <li></li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「防火パレード」を追記させていただきました。</li> </ul>   |

| ご意見   | 対応等   |
|---|---|
| P60 1-2-2 公共交通の整備   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>70歳を超えた方でもボランティアに参加していただいているが、参加する際に移動手段が問題になる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道、えこたんバス、チョイソコこうたなど、各種公共交通施策の特色を生かし、効率的な交通ネットワークの維持、改善を図ります。</li> </ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>幸田駅を起点にした公共交通の整備を急がないと利便性が悪くなるばかりとなってしまうと思う。</li> <li>えこたんバスについて、利用者数が限られており、多くの人に活用してもらい、移動手段として利便性を高める必要がある。バスのサイズを小さくして、本数を増やす。</li> </ul>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道、えこたんバス、チョイソコこうたなど、各種公共交通施策の特色を生かし、効率的な交通ネットワークの維持、改善を図ります。個別計画である「幸田町地域公共交通計画」には、えこたんバスの交通結節点(JR3駅)への接続強化、チョイソコこうたの運行エリア拡大などの計画を記載させていただいています。</li> </ul> |
| P62 1-2-3 上水道の整備  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>水道の老朽化および耐震化については、震災がいつ起こるか分からないからこそ、水道料金を上げてでも対応すべき課題である。水道料金を上げるとは記述できないとしても、総合計画の策定は方針を変更する良い機会なので、方針を明確化した記述として欲しい。</li> </ul>                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>災害への備えとして、水道事業の「持続的な運営」に加えて、「安全を確保のためには」を追記させていただきました。また、「料金改定などを検討する必要」について記載させていただきました。</li> </ul>   |
| P66 1-3-1 住宅の整備 P100 4-3-1 地域福祉・高齢者福祉の充実  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>住宅セーフティネット法が定められ、「住宅確保要配慮者」への、見守りや支援などの居住サポートがついた住宅の整備について、重点方針には記述を追加してもらいましたが、取組分野「1-3-1 住宅の整備」や「4-3-1 地域福祉・高齢者福祉の充実」には記述されていない。記述を追加してほしい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>取組分野「住宅の整備」に「バリアフリーの観点から・・・誰もが安心して暮らせる住環境の整備」について追記させていただきました。</li> <li>また、取組分野「地域福祉・高齢者福祉」には「ひとり暮らしの高齢者や・・・見守り支援と連動した住環境の改善・・・」について追記させていただきました。</li> </ul> |
| P76 2-2-1 ごみ問題への対応  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>前回、マイクロプラスチックの問題について記述してほしいと伝えましたが、幸田町の環境計画に関する会議でも話題となり、講演会などを開くこととなっています。改めてマイクロプラスチックの問題に関する記述を考えてほしい。</li> </ul>                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>主な取組に「マイクロプラスチック問題をはじめ・・・」の記載を追記させていただきました。</li> </ul>   |

| ご意見   | 対応等   |
|---|---|
| P80 3-1-1 農業振興  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>農業振興の目標値については、就農人数ではなく生産性や生産額を目標にしたら、やり方がかわると思います。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>目標指標を「新規就農者数」から「農産物収入」に変更させていただきました。</li> </ul>                          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>現在、獣害への意識が高まっており、幸田町でも農業被害を減らすため駆除に取り組んでいる。幸田町ではイノシシやシカが中心だが、クマもいるということなので、獣害についての記述を加えてほしい。また、遊休農地への対策とも連動して、害獣駆除についての記述を加えてほしい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>「遊休農地の増加・・・害獣被害の増加・・・」について記載させていただきました。</li> </ul>                       |
| P84 3-1-3 工業振興・企業立地・新産業創出   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>商業や工業についても事業所を増やすのを目標値ではなく、付加価値を上げる目標値とすべき。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>目標指標に「製造品出荷額等」と「製造品付加価値額」を追加させていただきました。</li> </ul>                       |
| P94 4-2-1 子育て支援の充実  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>「幸田町こども家庭センター」の設置についてはまだされていないはずだが設置されたと記述されているのはなぜか。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「幸田町こども家庭センター」は令和8年4月1日付で設置されるため、総合計画では「設置された」と記述しています。</li> </ul>       |
| P96 4-2-2 保育の充実   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>「育休退園」について「段階的に緩和」と記述されているが、喫緊の課題であり「早急に」取り組んでほしい。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>所管課と調整し、表記はそのままとさせていただきますが、所管課にはスピード感をもって推進するように伝えさせていただきました。</li> </ul> |
| P100 4-3-1 地域福祉・高齢者福祉の充実  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>「包括的相談支援体制の構築」は取組分野「4-3-2 障がい者福祉の充実」に記述されているが障害福祉に限らないので、「4-3-1 地域福祉・高齢者福祉の充実」に記述を移してほしい。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>主な取組に「包括的相談支援体制の整備」を追記させていただきました。</li> </ul>                             |
| P104 5-1-1 学校教育の充実  |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>教育分野においては、子どもの人数が減っていく中で、クラス数を減らすのではなく、25人学級への再編など子ども中心の取組を進めてほしい。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「教員が子ども一人ひとりに向き合える教育環境の充実・・・」と記載することで、今後も子ども中心の取組を進めていきます。</li> </ul>    |
| P120 効率的で健全な行財政   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと納税や町税など町の収入も増えない中で、既存事業の廃止も含めた見直しが必要であることを記述してほしい。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「事業の評価と廃止を含む見直しを適切に行い・・・」を追記させていただきました。</li> </ul>                       |